

平成23年7月26日

福知山FM放送 第21回番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成23年7月26日(火)午後6時～

2. 場所 京都府福知山旭が丘111番地
北関西IITメディアセンター福知山2F セミナールーム

3. 出席状況 総委員数 7名
出席委員数 4名
出席委員の氏名 松田 規 委員
香月 芳雄 委員
藤田 佳宏 委員
藤原 公子 委員

放送事業者側出席者名

代表取締役社長 松井喜久夫
局長補佐 水寫孝彦

4. 議題 1) 福知山FM放送局概況報告
2) 放送番組全般に対するご意見
3) 次回番組審議会の開催日時について
4) その他

5. 議事の概況

- 1) 代表取締役社長 松井喜久夫より、前回審議会以降の概況報告が行われた。
- 2) 各委員より放送番組全般に対する意見が出され、それぞれ代表取締役社長松井喜久夫が答申した。
- 3) 次回番組審議会の開催日時について協議がなされた。
- 4) その他、代表取締役社長松井喜久夫より今後の放送展開についての説明が行われた。

6. 審議の内容

- 1) 福知山FM放送局概況報告
代表取締役社長松井喜久夫より前回審議会以降の概況報告が行われた。

・「e-ふくちやま」での再送信について

「e-ふくちやま」の光ファイバー網に地上デジタルテレビと同じようにFMキャッスルの放送を流して頂いており、ラジオを接続すれば難聴地域でもクリアな音声で放送を聴くことができる。

7月23日から福知山市の了解を得て本格的にアナウンスを開始している。

・FM聴について

Android版スマートフォンでFMキャッスルの放送がワンタッチで聴けるアプリを開発した。

8月1日から試験的に提供を考えており、市内在住の方に限りモニターとして活用していただける。その後の展開は順次考えていく。

・Jアラートについて

福知山市で全国瞬時警報システムの運用を開始をしている。

Jアラートは消防庁が開発・整備を進めている緊急情報伝達システムで緊急地震速報等の情報を防災行政無線を自動起動させ住民へ情報を伝達する。

FMキャッスルでも夜の時間帯は市からの割込み放送として導入を開始したが昼の時間帯はシステム的に問題があり割込みが可能な体制を検討中。

・今後の予定について

8月15日 花火大会特別番組

8月28日 防災訓練特別番組

2) 放送番組全般に対するご意見

松田委員長の議事進行のもと、各委員が前回審議会以降の放送番組全般に対する意見を述べた。

出された意見及びその答申は以下の通り

(委員) 家では電波がよく入っており家内とともに聞かせていただいている。

現在の電波状況はどうか。

(事務局) 電波状況は場所によってひどく違っている。防災訓練の番組などで電波が入らないなど、市民の側からの声も必要かと思う

今回の「e-ふくちやま」での再送信はそういった難聴地域に向けての対策でもあるので加入されている方はぜひ活用してほしい

(委員) 私の住んでいるところは地上デジタル放送はよく入るがFMキャッスルは入らない。ちょうど境目となっているようだ。

(事務局) 確かにそういった境目が存在する。やはり再送信もこれだけではまかなえないのでいくつかの対策を用意する必要がある。

(委員) Jアラートの割込みについて昼間は導入していないというのは？

(事務局) 緊急情報なのでもちろん割込みで放送しないと間に合わないものであるが放送システム上、喋り手は緊急割込みの手前の音声を聞いているため割り込み放送が入ったことを察知できず、放送がちぐはぐになってしまう。現在は生放送の無い夜間と土日だけ割込み放送として導入している

(委員) 先日の防災講座において、地域の防災をどうすべきかという話し合いがあったのだが、都会のほうは情報が入りやすいが、田舎などの地域によっては情報が入りにくく、サイレンなども聞こえにくいのでラジオしか無い。今度新しく防災センターができる機会に何とか電波状況の改善など考えていただきたい。

3) 次回番組審議会の開催日時について

松田委員長の議事進行のもと、次回番組審議会の開催日時について協議した結果、平成23年9月27日(火)に決定した。

4) その他

代表取締役社長松井喜久夫より、今後の放送における展開について説明が行われた。松田委員長が閉会にあたっての挨拶を行い、第21回番組審議会を閉会した。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置

特になし

8. 審議機関の答申または意見の概要の公表

事務所に備置き	平成23年	9月	20日
ホームページに掲載	平成23年	9月	20日

9. その他

特になし